

2022年第1回情報交換会を開催

——— 東京支部

去る1月26日（水）に東京支部（高能彰支部長）では、2022年第1回情報交換会を開催した。昨年のリモート情報交換会（2021年10月）に引き続き、会場を確保しつつもリモートでの参加も可能な情報交換会となった。

今回の情報交換会では、東京支部常任幹事の一人でもある不動産鑑定士の山岡学氏（平成2年法卒）より、「コロナ禍の地価動向～令和3年地価調査の結果」と題して基調講演を行い、その後質疑応答、情報交換、歓談等というスケジュールで案内させて頂いたところ、当日は、会場8名、リモート7名、合計15名での開催となった。

まず、基調講演では、7月1日を基準に過去1年間の地価について都道府県がまとめた令和3年地価調査に基づき、コロナ禍が地価動向にどのような影響を与えたかについて、クイズ形式をまじえて参加者とともに考察を行った。結論としては、低金利等を背景に金融が正常に機能しており、場所によっては都市再開発やオフィス需要もあるため、リーマンショックと比較すると、全般として住宅地・商業地ともに地価変動はそれほどではないということにはなるとのことであった。一方、地域別で見ると個別の要因によって、大きく上昇・下落している地点があり、都市名を挙げて紹介いただいた。その後、地価上昇の反動は金利上昇が鍵となり得ること、1月1日を基準に過去1年間の地価について国土交通省がまとめる地価公示は地価調査と同じ趣旨で公表されていること等、質疑応答が行われた。

次回の情報交換会は未定であるが、予定が決まり次第、お知らせするので、多くの校友に参加して頂きたい。

(常任監事：村田樹一、連絡先：090-4712-7137、
長坂剛人、連絡先：090-5138-5361)

2022年第1回情報交換会 写真



①情報交換会の様子（東京センター）